

# わかやま母親通信

第75号 2019年8月1日発行

発行 和歌山県母親大会連絡会 事務局 和歌山市小松原通3の20 和歌山県教育会館内  
和教組 TEL073-423-2261 FAX073-436-3243 母連メール:w\_haharen@wkn.or.jp

生命を生み出す母親は  
生命を育て  
生命を守ることをのぞみます

## 6/16(日) 第64回和歌山県母親大会 in 橋本市 HP:和歌山県母親大会 分科会の申し合わせ事項をもとに、各地で要求運動を!

### 第1分科会 親子 親が育つ 子も育つ 一体と心の発達を促すリズム体操

- 一 母親大会に参加して、「出会う・つながる・学び合う」場を、みんなで作っていきましょう。
- 一 育てる・育ち合うベースに、「食べる・出す・寝る」を大事にしましょう。」
- 一 「働き方」に流されないように、生活リズムを大切に守る努力を、家族でしましょう。



(感想)とても楽しみにして来ましたが、子どもを夫に任せ、自分だけ来てしまいました…。知り合いの人と、「やはり生キーボードは良い」などおしゃべりし交流できてよかったです。何と言っても弾く人がママ！他のメンバーの方も慣れていて頼もしかったです♪

目からウロコの食の話。着物姿の講師だと思っていたら、とっても身近なお話で分かりやすく、どれも納得してかなり反省…。でも、グループワークになると、みなさん同じような思いで安心。「心がけること」も忘れないようにしたい。多くの出会いに感謝し元気をもらいました。



### 第2分科会 親子 子どもたちに豊かな放課後を

#### 一 お手玉・マジック・折り紙遊び

- 一 親子で遊んで、豊かな体験をする機会を増やしましょう。
- 一 問い詰めないで、子どものサインを読み解きましょう。
- 一 子どもとの共感を大事にしましょう。

(感想)前半の遊びタイムで、折り紙やマジック、紙芝居を楽しませていただきました。子どもが小3になった今では、近所のお話の会では浮き始めて行かなくなっていたので、久しぶりに親子で絵本の読み聞かせを楽しみ！マジックに驚き！日頃のもやもや、イライラを忘れてしまう1時間でした。というのも、森先生ご夫妻の、最初のつかみのマジック→優しい語りの紙芝居→絵本→ドキドキワクワクマジック→楽しい折り紙→体験折り紙と、スムーズで熟練された技のおかげだと思いました。この技も、参考にして日頃の生活に生かさせていただきます。

後半は、同年代の親仲間の日頃の悩みに触れさせていただいたり、森先生のアドバイスをいただいたりしたことを、これからのいろんな場でのヒントにさせていただきます。

さらに、親子体操などもあれば、もう少し大きくなって親子で参加できるかなと思いました。

### 第3分科会 今、子どもたちをとりまく環境は？－学校・学童保育・放課後－

- － ボランティア・学童保育・学校・家庭が、互いに知り合うことを大事に連携し、子ども一人一人を見守り育てていきましょう。
- － 子どもたちが豊かな放課後を過ごせるよう、知恵を出し合いきましょう。

(感想) 子どもをとりまく環境が、学童保育、学校、ボランティア、それぞれの視点の話を聞くことで、大変よく分かりました。子どもたちはもちろん学校も大変なのだ、改めて理解できました。共働き世帯が増えている今、学童保育はなくてはならないものだと分かりました。連携するにあたり、お互いの役割をしっかりと知り、助け合いながら協力して切れ目のない支援ができたと思います。本当にいろいろと知ることができ、よかったです。



### 第4分科会 支援を必要とする子どもたちとともに

- － 子どもの支援に必要な人員(40人学級の解消や障害児学級の定数改善)の運動をすすめましょう。
- － 支援を必要とする子どもの父母が安心して子育てできるような条件整備やネットワークづくりを進めましょう。
- － 子どもも親も一人ぼっちにしないで、育ち合う支援のできる関係をつくっていきましょう。



(感想) 中学校で、支援を必要とする子どもたちと関わって20年になりますが、卒業していく子たちにどんな進路を保障できるのか、親と子の思いが合わず苦しい選択を求めざるを得ない場合もあり、早い段階から支援学校高等部や高校の担当者との連携の大切さを感じてきました。特に、情緒障害学級の子たちの進路選択の幅が広がるよう、連携し声を上げていきたいと思えます。「叱らない＝意味のない行動はない。『どうしたの?』という声掛け、寄り添うこと」が胸に落ちました。

### 第5分科会 登校拒否・不登校の子どもたちによりそって

- － 自分一人で抱かえ込まず話を聞いてもらい、子どもをじっくり受けとめましょう。
- － 登校拒否、不登校の子どもたちへの理解を深める取組みを広げましょう。
- － 保護者や関係者が集まり、お互いに話し合える場を広くもちましょう。
- － 子どもを受け入れる環境権・学習権を、保障してもらいましょう。
- － 親・子どもにとって、身近に相談できる場所、支援してもらえる体制を、学校や地域に作ってもらえるよう、行政に働きかけましょう。



(感想) 現場の先生から、今の学校の状況を聞かせていただき、以前と変わらない面と随分変わってきたと思う面がありました。先生方が大変忙しく、先生自身が不登校状態(?)のように思いました。今回HSCという感覚過敏な子どもの話を聞き、それだったら、我が子も同じだと思いました。そうした子どもへの見方・考え方を肯定的に捉えることの大事さを思いました。

## 第6分科会 ひきこもりがちな青年が 自分らしく生きるために

- 一 ひきこもりについて共通理解を深めるための学習を進めましょう。
- 一 家族や支援者の様々なつながりを深め、家族・支援者の在り方を考えましょう。
- 一 ひきこもりがちな青年たちの居場所づくりと自立への支援を、地域や行政に働きかけましょう。
- 一 しんどさをもつ青年とその家族を受けとめられる機関の情報を交流し、優しい社会の実現を求めていきましょう。



(感想)リアルタイムなテーマであり、今後の社会問題の解決の糸口になるような取り組みを聞くことができました。しかし、こうした取り組みへの支援を国がいかにか本気でサポートしてくれるのか、と考えさせられる時間となりました。

また、当事者の保護者の方々が多く参加され、切実な悩みと実情を打ち明けていただきました。これもまた、高校生以上の人への支援の場が少なく、国のサポート不足を痛感しました。

「誰にでも起こること」ということに、自分の子育てを振り返るきっかけになりました。

## 第7分科会 語り合おう！障がい者の生活 国・自治体の役割

- 一 障がい者がよりよく生活できるために、社会が声を上げて理解を広げましょう。
- 一 精神障がいのある人や家族が孤立することがないように、精神障がい者へを広げましょう。
- 一 旧優生保護法下で強制不妊手術を受けた障がいをもつ方に対して、国は責任をもって納得のいく救済策を講ずるよう求めましょう。



(感想)初めての参加です。障害のある方、家族、事業所職員、いろいろな方の話を聞いて、改めて声を上げ続けることの大切さ、必要性を感じました。生きづらい、冷たいと感じてしまう社会で、「動けばマイナス」というのは、本当にその通りだと思いました。困ったこと、悩むことを話し合える場が増えて、「家族も自分の人生を楽しむ」ことが、障害のある本人への支えになるということ、いろんな話に共感の連続した。また、参加したいです。

## 第8分科会 人生百年時代を豊かに一人生を支える医療・介護は



- 一 安心して生活できる社会保障制度を求めていきましょう。
- 一 健康寿命を延ばすために、できる取り組みを実施していきましょう。
- 一 元気なうちにできることをして、できなくなったら助けてもらおう。
- 一 一人ぼっちにならない、一人ぼっちにさせない居場所をつくろう。
- 一 介護する人、される人が参加できる場、発信できる場をつくっていきましょう。
- 一 福祉職場で働く人たちが、普通に暮らせる処遇を要求していきましょう。



(感想)「人生百年時代」というとテーマが広くて、最初どのように考えたらいいのか分からず  
いました。しかし、参加者の多くが「自分はどうか」「人生百年楽しく生きたい」という  
気持ちをしっかり持っていることが分かり、暗い気持ちにならず明るく生きていこうという気  
持ちになりました。

国の制度や保障は完璧なものではないので、自分たちが安心して生活できるような社会を人  
任せではなく自分たちで作っていきけるよう輪を広げながら、活動していきたいと思いました。

「長生きして楽しく暮らしたい」という気持ちは誰しもの願いであり、まるで「長生きは悪いこ  
と」と言わんばかりの政府の政策に、これからも意見を言い続けていきます。

### 第9分科会 憲法カフェ 憲法はだれのもの? —私たちは何をしたらいいの—



- 憲法は主権者である国民一人一人のものであることを  
いろいろな場で共通認識にしていきたいと思います。
- 憲法が生まれた歴史を風化させないために、学び、知ら  
せ、声を上げ続けましょう。
- そのためにも、「憲法カフェ」の輪を広げましょう。

(感想)たぶん「憲法の話」は、一般には話にくい難しいこととしてけ  
むたがられる話題となるので、「このカフェという名前の気軽な会合はとていいと思いました。

民主主義は、みんなが言いたいことを言えるのが基本だと思うので、議論の場でも、一部の強  
い意見を言える人がたくさん話すのではなく、どんな意見であっても自由に言える会が大切な  
あと思いました。今日は、その意味でたくさんの方が自由に話せてとても良かったと思います。

### 第10分科会 沖縄の現状を知ろう 語ろう —県民の心に向き合う—

- 基地問題を、我が事として受け止めましょう。
- 沖縄の現実をもっと知り、行動しましょう。
- 平和憲法を守るために、自分の意見を持ち選挙に行きま  
しょう。



(感想)沖縄への思いはあっても何も知らないに等しい自分に、いつももどかしい思いでいま  
した。今日もまた、知らなかった話をたくさん聞けました。幼かった頃、親たちが参加するメー  
デーなどの集会についていく中で、何時も『沖縄を返せ』の歌を歌っていたことを思い出しま  
した。未だに帰っていません。大好きな『タンポポ』『月桃』の歌をしてくれて嬉しかったです。

### 第11分科会 体験 手芸を楽しもう —ファスナーブローチ作り—

(感想)今日はファスナーブローチを作るのが楽しみで、娘に、「  
ママ、頑張ってかわいいブローチを作ってくるからね。」と言っ  
て家を出て来ました。実際やってみて、ブローチの形を整えるの  
が難しくて、でも楽しくて、家でも出来たらいいなあと思いま  
した。また作ってみます。





## 第12分科会 体験 心も身体も健康に

### ーリンパストレッチとセルフリンパマッサージを楽しもうー

(感想)じっくりと自分の体と向き合うことがなかったので、とても気持ちがよかったいい時間になりました。

普段から自分の体を触り、リンパを流していこうと思います。

いつもの生活にすぐ簡単に取り入れられるので、とても役立ちそうです。



## 第13分科会 特別講座 どうなる?くらしのいのち

### ① 種子法廃止と食・農業… ② 今なぜ、消費税10%増税…

- ー 私たちの食と地域の持続可能な農業を、本気で守っていきましょう。
- ー そのために、早急に県内のあらゆる人が参加できるプラットフォーム(人が集い、情報共有し、発信する場)を作り、動き出しましょう。
- ー 10月の消費税10%への増税はストップさせましょう。
- ー 税金の使われ方に、もっと関心を持ちましょう。



(感想)種子法・種苗法の廃止で、自由に種子が取れなくなるのは心配です。今回講演を聞いていて、知らない間に大企業のいいように政治が動いているなど考えさせられました。

消費税では、1000万円以下の事業者がインボイスによって取引がなくならないように税金申告しなければならなくなるのは、不合理で、これも反対運動をすすめていかなければと思います。

## 第14分科会 特別講座 地球温暖化問題と災害・これからの生活を考えよう

- ー 地域の自然エネルギーによる発電については、住民合意を大切にしながら、営利主義を排して、推進していきましょう。
- ー 温暖化防止にあたって、女性がエネルギー政策に声を上げていきましょう。
- ー 私たちの暮らしの中で、まずできることから行動しましょう。
- ー 地球温暖化の深刻な状況をしっかり学び、知らせ、運動を広げましょう。

(感想)普段何気なく使っている電気や石炭などのエネルギーについて考えることができ、よい機会でした。限りある資源を少しでも守っていくことができたらよいと思いました。便利を求めれば、いずれは自分に困ったことが戻ってくることを心に止めていくことが大事だと思いました。ただ、私たち一人ひとりが意識を変えていくことが大切ですが、企業の努力はどこまで進んでいるのか疑問です。もっとエコを進める取り組みに積極的に動いてほしいです。



## 第15分科会 見学 天野の里めぐりと世界遺産丹生都比売神社見学

(感想) 雨に会わず、しかも涼しくて良かったです。詳しく説明してくださり、楽しく過ごせました。みんなと一緒に歩けるか心配でしたが、説明を聞きながらなので何とか歩いて歩くことができました。風もあって緑に包まれて気分よく歩き、高野山との関係やいろいろ教えていただき、勉強になりました。歩き通せたことが、私の何よりの自信になりました。

天野産のおにぎりとおそばを美味しくいただきました。

## 6/29 県実行委員会議での総括・反省より

(郡市母連・加盟団体の意見より)

- ・「どうやって…」と思ったが、みんな知恵を出してくれた。それぞれの団体総動員だった。
- ・現地で初参加者が100人近くあった。20代～40代も増えた。学童保育関係だけでも30人も来てくれた。事前に、ちらしをまきにまいた。
- ・小学校の運動場で車を降りた後、受付の場所が分かりにくかった。 ・弁当はおいしかった。
- ・文化会館の「弁当券」では、少しわかりにくく混乱もあった。バザーも少しごたごたした。
- ・バザーの売り上げが少なかった。分科会場から全体会場への移動もあったので。
- ・参加者の高齢化の面もあって、受付案内や会場移動のフォローも、さらに考える必要を感じた。
- ・見学分科会、良かった。「セラピー」も好評。「沖縄」では、歌にみんな涙。「人生」これからも。
- ・「地球温暖化」は、参加者を巻き込む形で新鮮だった。ただ、映像がスクリーンに映らず残念。
- ・帰りにバスの中での感想交流が興味深かった。「知らなかったことが知れてよかった」と。
- ・親子の分科会、大勢で、「申し合わせ」が決めにくかった。

(参加者のへアンケートより①)

- ・分科会場内の場所が分かりづらかった。・受付の場所・駐車場の掲示も、もっとわかりやすく。
- ・分科会によっては——○固い丸いすで辛かった。休憩が欲しかった。○声が聞こえづらかった。(体育館)○声が小さい人もいて、マイクがあってもよかった。○親子でお手玉をしたかった。
- ・「申し合わせ事項」を作るのなら、前もって討議の柱を決めて、それに沿って話し合ったら…。
- ・時間配分の提示を最初に行ってほしい。 ・司会者がてきぱきしてよかった。
- ・会場を一か所にしてほしい。
- ・弁当につけるお茶をペットボトルにしてほしい。

(参加者のへアンケートより ②こんな分科会があったらいいね)

- \* 教育放棄の問題、読書活動、絵・イラスト講座、南海トラフに備えて防災問題、脳トレ体操・身体を動かす分科会、統合失調症の分科会、クッキング、震災を語り継ぐ場、カウンセラーさんとの相談の場、授業に出られない生徒への支援について、自宅介護者への支援、自衛隊はどうあるべきか、公務員の上から目線、なぜ30cm3秒がまもられない?、いじめ問題、歌声、バーバリウム・レジニアロマ、ETC.
- \* 他に、父親・子育ての仕方に悩む男性目線の分科会。
- \* 続けてほしい…子育て、発達障害、ひきこもりの問題、学校・学童・保護者の交流の場など。
- \* 増やしてほしい…手作り活動、体験型、親子が一緒に楽しめるもの(親子体操など)。

さまざまなご意見、ご感想を本当にありがとうございました。次回にいかしていきます。